

## テモテへの手紙 第二 2 章 1~7 節 終わりまで堅く耐え忍ぶ

このテモテへの手紙のシリーズのテーマは、「忠実であり続けること」である。私たちは、パウロが 1 章 12 節で次のように指摘したことを見てきました。**テモテへの手紙 第二 1 章 12 節** **そのために、私はこのような苦しみにあっています。しかし、それを恥とは思っていません。なぜなら、私は自分が信じてきた方をよく知っており、また、その方は私がお任せしたものを、かの日まで守ることがおできになると確信しているからです。**

パウロは、自分自身とお委ねした彼の命、体、奉仕などすべてが福音から離れることがないように守ってくださるとイエス・キリストを信頼していたのです。そして 14 節では、テモテに同じ **自分に委ねられた良いものを**、を内在する聖霊の力を通して守るように言っています。

そして、パウロは 15 節で、福音を捨てて忠実でなかった二人の男、フィゲロとヘルモゲネスの例を挙げています。しかし、16 節では忠実であり続けたオネシフォロの例も挙げています。さて、2 章 1 節から 7 節に入ると、パウロはテモテのために、そして私たちすべての人のために、私たちが福音に忠実であり続け、人生の最後まで耐え抜くために必要なことを述べています。まず、この箇所を読んでみましょう。

**テモテへの手紙 第二 2 章 1~7 節** **ですから、私の子よ、キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。 2 多くの証人たちの前で私から聞いたことを、ほかの人にも教える力のある信頼できる人たちに委ねなさい。 3 キリスト・イエスの立派な兵士として、私と苦しみをとみにしてください。 4 兵役についている人はだれも、日常生活のことに煩わされることはありません。ただ、兵を募った人を喜ばせようとしします。 5 また、競技をする人も、規定にしたがって競技をしなければ栄冠を得ることはできません。 6 労苦している農夫こそ、最初に収穫の分け前にあずかるべきです。 7 私が言っていることをよく考えなさい。主はすべてのことについて、理解する力をあなたに与えてくださいます。**

この箇所では、パウロはテモテにそれに従えば、テモテも私たちも最後まで忠実であり続け、耐え忍ぶことができる 3 つの指示を与えています。テモテへの最初の指示は、神の恵みを信じることです。1 節にこうあります。**ですから、私の子よ、キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。** 私たちはここに、パウロから深い感情が湧き上がってくるのを見ます。彼は愛する息子に語りかける父親なのです。私が思い浮かべるのは、父親が息子のところに来て、本当に真剣な話をしている姿です。彼は息子を座らせ、自分がどれほど彼を愛していて、そして彼の人生にとって絶対的なベストを望んでいるかを話し始めます。そして、その父親、パウロは息子に最も重要な真実を告げます。ただ、一つ、彼には神の恵みが必要であることです。神が私たちに恵みを注いでくださるのは、イエス・キリストを通してです。恵みとは、神が私たちにふさわしくないものを与えてくださることだということを覚えておいてください。神は聖なる創造主です。**黙示録 4 章 11 節**は言っています。

**11 「主よ、私たちの神よ。あなたこそ 栄光と誉れと力を受けるにふさわしい方。あなたが万物を創造されました。みこころのゆえに、それらは存在し、また創造されたのです。」** 主は私たちを、主に栄光を帰し、この世に主の似姿を現すように造られました。しかし、私たちは罪のためにそれができませんでした、**ローマ人への手紙 3 章 23 節** **すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができません**しかし、もう一節、ローマ人への手紙 3 章 24 節を読むと、私たちは罪人であるにもかかわらず、恵みによって義と認められることがわかります。**24 神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、価なしに義と認められるからです。**

聖書がイエス・キリストを神の恵みと私たちへの賜物の源であると語る理由は、イエスが十字架で死なれたとき、私たちの罪を自ら背負い、その罪に対する神の怒りの罰を負われたからです。そして、ローマ人への手紙 6 章 23 節にあるように、イエス・キリストは死を克服してよみがえられたのです。

私たちが悔い改めて罪から離れ、イエス・キリストに信仰と信頼を置くとき、神は私たちが受けるに値しない赦しを与えてくださいます。なぜなら、キリストは私たち自身の義ではなく、キリストの義を私たちに与えてくださるからです。**コリント人への手紙 第二 5 章 21 節** **神は、罪を**

知らない方を私たちのために罪とされました。それは、私たちがこの方において神の義となるためです。それが私たちを救う恵みであり、私たちが生きるべき恵みでもあります。

エレミア書 32 章 40 節で神は言われます。40 わたしが彼らから離れず、彼らを幸せにするために、彼らと永遠の契約を結ぶ。わたしは、彼らがわたしから去らないように、わたしへの恐れを彼らの心に与える。

私たちの救いは、永遠の命をもたらす永遠の契約であり、私たちの神は、その契約に与るすべての人に対して、益となるように、言い換えれば恵みを示すことから目を背けることはないと言っておられます。つまり、神の恵みは神と過ごす永遠だけでなく、今の人生でも私たちに与えられるのです。私たちは、神がご自身のものである私たち一人ひとりに益となるように、恵みを与えると約束されていることを知ること、力を得ることが出来ます。ですから、神が何をしておられるのかわからず、私たちの信仰が挫折しそうになったとき、私たちは神を呼び求めて、前進し続ける力を得ることが出来るのです。この箇所では明らかなのは、苦難は必ず訪れるということです。そして、そのような困難な時にこそ、恵みの神を呼び求めることができ、詩篇 46 篇に記されているような力が神にはあることを知ることが出来ます。

詩篇 46 篇 1~3 節 神はわれらの避け所また力。苦しむとき そこにある強き助け。2 それゆえわれらは恐れない。たとえ地が変わり 山々が揺れ 海のただ中に移るとも。3 たとえその水が立ち騒ぎ 泡立っても その水かさが増し 山々が揺れ動いても。セラ

では、私たちはどのように信仰を保ち、神の恵みに信頼して最後まで耐え忍ぶことができるのでしょうか。テモテに神の恵みに信頼しなさいと言った後の 2 つ目の指示は、他の人に投資しなさいということです。2 節にはこうあります。2 多くの証人たちの前で私から聞いたことを、ほかの人にも教える力のある信頼できる人たちに委ねなさい。

生涯を通じて忠実に耐え忍ぶにはどうすればいいのでしょうか？ 私たちは、他の人々に忠実さを再現することに人生を投資します。このことが、クリスチャン生活における忍耐にどのようにつながるのでしょうか？何かを教えるためには、そのテーマをよく知らなければなりません。もしあなたが個人的に信仰を深めていなければ、それを他の人にうまく伝えることはできません。それで、私たちは信仰を分かち合わないのです。そして、教会での兄弟姉妹との会話は、スポーツ、教育、仕事、その他のことを話し合っている私たちの周りの世界と同じように見えます。それはなぜでしょうか？ 私たちは他の人たちと分かち合える神が私たちの人生になしておられる御業が一切ないのです。私たちの信仰は停滞し、恵みの中で成長するどころか、ただ教会に通うだけで、信仰を実践することができなくなっているのです。救われた当初は信仰に興奮し、欠かすことなく毎週礼拝のために教会に集まっていた教会員が、今ではほとんど見かけなくなるのはそのためです。彼らは恵みの中で成長していないので、教会に集まって他の人々に注ぐ必要性を感じないのです。しかし、聖書が示す姿は、クリスチャンとして、私たちには信仰において互いに建て上げ合う責任があるということです。集まり、交わりがなければ、それは困難です。このことは、エペソ人への手紙にも書かれています。まずエペソ人への手紙 4 章 15~16 節を見てみましょう。15 むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において、かしらであるキリストに向かって成長するのです。16 キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わされ、つなぎ合わされ、それぞれの部分がその分に応じて働くことにより成長して、愛のうちに建てられることになります。

これは、教会の体全体が共に建て上げ合っていくことであり、「私たち」という代名詞を使っていることに注目してください！そしてこれらの節は、教会体そのものが愛のうちに自分自身を築き上げることによって成長するという事実で締めくくられています。そして、エペソ 4 章 11-12 節に戻ると、牧師／羊飼いの役割は、教会員がそのようなことができるように備えることであることがわかります。

エペソ人への手紙 4 章 11~12 節 こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。12 それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。



この考えは、エペソ人への手紙 5 章に移ってから続きます。**エペソ人への手紙 5 章 19 節 詩と賛美と霊の歌をもって互いに語り合い、主に向かって心から賛美し、歌いなさい。**

会衆の神を賛美する歌でさえ、歌を通して神の御言葉を分かち合い、神に向かって歌うだけでなく、歌で励まし合う時を意図しています。つまり、キリストを知っている私たち全員が、教会の他の兄弟姉妹を建て上げるために投資することになっているという事実によって、これは私たち全員に適用するのです。しかし、私たちはこれらの節に戻って、テモテの手紙の本来の受取人に少し焦点を絞ります。テモテは教会の牧師、長老です。ですから、パウロが言います。**多くの証人たちの前で私から聞いたことを信頼できる人たちに委ねなさい。**

パウロは長老として、他の長老を育てるように言っているのです。私の牧師としての最高の目標の一つは、他の男性、特に若い男性に投資し、彼らが自ら長老となるように成長するのを見届けることです。恥ずかしながら、私はこのことを一貫して行ってきたわけではありませんが、私たちの教会が教会の中から牧師を育てるための訓練の場であってほしいと心から願っています。もちろんこれには、宣教師がここに来て言語と文化を学び、弟子を作って新しい教会を建てするために派遣されることも含まれます。しかし、その中には、長い間私たちの教会の一員であった男性や、YIBC で子どもやティーンエイジャーであった若い男性も含まれるべきです。

日本の牧師の平均年齢は 60 歳から 70 歳で、70 歳以上の牧師も少なくありません。日本で牧師を養成しようとしているサムライ・プロジェクトの記事によると、2030 年までに日本の全教会の 50% が牧師不在になると推定されています。これは私たちが懸念すべき問題であり、この問題を解決する唯一の方法は、新しい牧師／長老を育てることです。そして、私たちは YIBC に留まる長老を育てる一方で、この国の他の場所に教会を開拓し、牧会するために、あるいは世界中に宣教師として送り出すことができる長老を育てることを考え、そのために働く必要があるのです。YIBC での私のミニストリーに対する祈りのひとつは、もし神の御心であれば、できれば 15 年後、20 年後に、ここ YIBC でミニストリーの訓練を受けた若い男性が私の後任となる次の主任牧師になることです。

ですから、もし私たちが忠実な男性を特定して、長老となるように訓練することに取り組んでいないのであれば、私たちの教会で弟子を作ることの一部分を怠っていることになります。そして、これは女性にも適用します。もし私たちが若い女性を特定し、ここ日本や世界中の地域教会やより大きなキリストの体において、その賜物を用いて奉仕する機会と聖書的訓練を与えていないのであれば、私たちは真にあるべき弟子作りをしていないことになります。男性にも女性にも、特に自分が若いと思っている人たちに言いたいのですが、もしあなたがミニストリーにより深くかかわる、あるいはリードするための指導を受けたいと思っていらっしゃるなら、私か他の長老、あるいはこの教会の敬虔なミニストリーリーダーである女性の真剣な指導を計画的に受けられるよう、私に相談に来てください。

今日、ここに座ってこのメッセージを聴いている皆さんの中には、長老、執事、宣教師、教会ミニストリーのアシスタントやヘルパーとしての奉仕者、聖書勉強会の教師、クリスチャン図書の翻訳者、あるいは著者になるために、すでに神によって備えられている人たちがいます。

どのように忠実に在り続け、最後まで耐え忍ぶのでしょうか。神の恵みに信頼し、その恵みに在って成長するにつれて、他の人々に投資するのです。パウロは、最後まで忠実であり続けるには苦難の中で耐え忍ぶことが必要だという 3 つ目のポイントを、一連のイラストを使って説明しています。3 節でパウロはテモテに言います。**キリスト・イエスの立派な兵士として、私と苦しみをともにしてください。**

5 節では**競技をする人も、規定にしたがって競技をしなければ栄冠を得ることはできません。**そして 6 節で**労苦している農夫こそ、最初に収穫の分け前にあずかるべきです。**と言っています。

彼はここで何を言わんとしているのでしょうか？兵士、アスリート、農夫、この 3 つの共通点は何でしょうか？とにかく厳しい、苦難に耐えていることです！兵士になるということは、苦しみということです。私は 18 歳のとき、サウスカロライナ州のパリス・アイランド海兵隊新兵訓練

所に行き、3 カ月間、アメリカ海兵隊員になるための訓練を受けました。5 節に苦しみとあるように、それは辛く苦しいものでした！しかし、訓練が辛く苦しいのは、より辛く、より苦しみが多い戦争のための訓練だからです。アスリートはどうでしょう。私はその昔、かなり体がしまっていた時代マラソン（42.195 キロ）を楽しんでいました！その距離を完走するためには、毎週何時間もただひたすらより長い距離を走るトレーニングが必要です。

もちろん、そのようなレースにもずるをする人たちはいます。数マイル走っては車に拾ってもらい、最終的にレースに復帰することもあります。それが発覚したとき、彼らは実際にレースを完走するための仕事をしていないため、賞品はもらえません。そして農夫がいます。彼の収入、そしておそらく家族の食糧は、作物が育つかどうかにかかっています。作物を育てるのは簡単ではないので、彼の生活は植え付けの季節、雑草取り、害鳥や害虫を寄せ付けないこと、そしてちょうどいいタイミングでの収穫を中心に回っています。

農夫が一生懸命働いていないなどと言う人はいないでしょう。その働きは、収穫後に皿に盛られた新鮮な野菜で報われます。これらの実例はすべて、イエス様に従うことは苦難に耐える人生であるという事実を指し示しています。あまりにも多くのクリスチャンが、苦難や苦しみを避けようとしています。そこから逃げようとするのではなく、天国で待っている報酬とこの地上での祝福を受けるために、その苦難を乗り越え、耐え忍ぶ恵みをイエス様に求めるべきなのです。これが 4 節にある兵士の姿です。 **4 兵役についている人はだれも、日常生活のことに煩わされることはありません。ただ、兵を募った人を喜ばせようとします。**

イエス様に最後まで忠実に従うことに集中する人生から、多くのことが私たちの気をそらさせます。これらの **日常生活の煩い**は、教育、休暇、娯楽、必要な仕事など、良いものである場合もあれば、飲酒、SNS のスクロール中毒、依存症、金銭欲のような有害なものもあります。重要なのは、もし私たちが神の恵みによって生き、自分自身を他の人々に注ぎ込もうとするならば、その努力に専念し続けるためには集中した勤勉なハードワークが必要だということです。それは自然にできる事ではありません。そのためには、このメッセージの冒頭に戻りますが、神の恵みが必要なのです。

しかし、このメッセージの最後に、今読んだことを立ち止まって考えてみていただきたい。7 節で、パウロはテモテにこのような指示を与えた後、まさにこう言っています。 **よく考えなさい。**

**7 私が言っていることをよく考えなさい。主はすべてのことについて、理解する力をあなたに与えてくださいます。**

実際に、皆さんは私や他の牧師たちの説教を何百回と聞いてきたでしょう。私たちは説教を聞いたり、聖書を読んだりするとき、時にはそのような無関心な態度で、ぼんやりと聞いていることがあります。私たちは聖書を真実なものとして受け入れています。読んだり、説教を聞いたりすることは良いことだと受け入れています。私が勧めている毎日説教を聞いたり聖書を読んだりすることをしてもすぐにその日の他の次のすべきことに移ってしまうのは、神が御言葉の中で語っておられることを本当に考える時間を取っていないからです。人生の終わりまで忠実であり続けるクリスチャン生活を送るというこの考えは、パウロが最後にこう言っているほど重要なことなのです。それについて考え、それがテモテに、そして今、あなたにどのように直接適用するのか、神が理解を与えてくださるようにお祈りください。ですから、今日、これらの真理を忘れて立ち去らないでください。神が今日、御言葉に対するあなたの応答がどうあるべきかを示してくださるようにお祈りください。あなたは神の恵みを経験しましたか？もしまだなら、今日罪を悔い改め、イエス・キリストを主として救い主として受け入れてください。もしすでに神の恵みによって生きていらっしゃるならば、あなたは、ある方がさらにキリストに近づくのを見るために、その方に霊的な投資をしていますか？それとも、あなたが次の執事や牧師や宣教師になれるように、教会があなたに霊的な投資するのを承諾する必要がありますか？最後に、あなたはこの世のことに気を取られて、キリストに従うという困難な働きから目をそらしますか？それとも、あなたが息を引き取るその日まで、兵士のように訓練し、アスリートのように走り、農夫のように働き続け、主の御前に立ち対面しますか？祈りましょう。

## 2Timothy 2:1-7 Endure to the End

The theme of this series in 2Timothy is to “remain faithful.” We have seen that when Paul pointed out in chapter 1, verse 12 that he was... “[not ashamed, for I know whom I have believed, and I am convinced that he is able to guard until that day what has been entrusted to me.](#)” He was trusting in Jesus Christ to guard him against falling away from the gospel. Then in verse 14, he tells Timothy to guard that same “[good deposit entrusted to you...](#)” through the power of the Holy Spirit, “[who dwells within us.](#)” Then Paul gives an example of two men, Phygelus and Hermogenes, who have forsaken the gospel and not remained faithful in verse 15. But he also gives an example of a man Onesiphorus who does remain faithful in verse 16. Now as we enter chapter 2, verses 1-7, Paul lays out for Timothy and all of us what will be required for us to remain faithful to the gospel and endure until the very end of our lives. Let’s begin by reading this passage. **2 You then, my child, be strengthened by the grace that is in Christ Jesus,** <sup>2</sup>**and what you have heard from me in the presence of many witnesses entrust to faithful men,** <sup>[a]</sup>**who will be able to teach others also.** <sup>3</sup>**Share in suffering as a good soldier of Christ Jesus.** <sup>4</sup>**No soldier gets entangled in civilian pursuits, since his aim is to please the one who enlisted him.** <sup>5</sup>**An athlete is not crowned unless he competes according to the rules.** <sup>6</sup>**It is the hard-working farmer who ought to have the first share of the crops.** <sup>7</sup>**Think over what I say, for the Lord will give you understanding in everything.**

In this passage Paul gives **three instructions to Timothy that if followed will help him and us to remain faithful and endure to the end.** The first instruction we see to Timothy is to **Trust in God’s grace.** We see that in verse 1, **You then, my child, be strengthened by the grace that is in Christ Jesus...** We see here a deep seated emotion come from Paul. He is the father speaking to his beloved son. What I picture is a dad coming to his son for a really serious conversation. He sits him down and starts by telling him how much he loves him and wants the absolute best for his life. Then that dad, Paul, gives his son the most important truth he can. And he tells him one thing – you need God’s grace. It is through Jesus Christ that God pours out his grace on us. Remember that grace is God giving us what we don’t deserve. God is the holy creator. [Revelation 4:11](#) tells us that “[Worthy are you, our Lord and God, to receive glory and honor and power, for you created all things, and by your will they existed and were created.](#)” He made us to glorify him and image him in the world. But we have failed to do that because of sin, because [all of us have sinned and fall short of the glory of God, Romans 3:23.](#) But when we read just one more verse in [Romans 3:24,](#) we see that although we are sinners, we “[are justified by his grace as a gift, through the redemption that is in Christ Jesus.](#)” The reason the Bible speaks of Jesus Christ as being the source of God’s grace and gift to us is that when Jesus died on the cross, he took our sins on himself and bore the penalty of God’s wrath against that sin. Then he rose from the dead conquering death which [Romans 6:23](#) tell us is the “[wages of sin...](#)” When we repent and turn away from our sin and put our faith and trust in Jesus Christ, then God gives us forgiveness that we don’t deserve because he also gives us Christ’s righteousness which is not our own. [2 Corinthians 5:21](#) says, **21 For our sake he made him to be sin who knew no sin, so that in him we might become the righteousness of God.** That is the grace that saves us, and that is also the grace that we must live by. In [Jeremiah 32:40](#) God says, <sup>40</sup>**[I will make with them an everlasting covenant, that I will not turn away from doing good to them. And I will put the fear of me in their hearts, that they may not turn from me.](#)** Our salvation is an everlasting covenant that brings eternal life, and our God says that he will not turn away from doing good, in other words



showing his grace, to all who are part of his covenant. So, his grace is available to us for **this** life, not just the next. We find strength in knowing that God has promised to do good and give grace to each of us who are his own. So when our faith is near failing because we don't know what God is doing, we can call out to God for strength to keep going. What is clear in this passage is that hardship will come. And in those difficult times, we can call upon the God of grace and know that he has the strength described in Psalm 46. [Psalm 46:1-3 says, God is our refuge and strength, a very present help in trouble. 2 Therefore we will not fear though the earth gives way, though the mountains be moved into the heart of the sea, 3 though its waters roar and foam, though the mountains tremble at its swelling.](#)

So how do we remain faithful and endure to the end- trust in God's grace. **The second instruction we see to Timothy after telling him to trust in God's grace, is to invest in others.** Verse 2 says, **<sup>2</sup>and what you have heard from me in the presence of many witnesses entrust to faithful men,<sup>[a]</sup> who will be able to teach others also.** How do we endure faithfully throughout our lives? We invest our lives in reproducing faithfulness in others. How does this lead to endurance in our Christian life? In order to teach something, you have to know that subject well. If you aren't personally growing in your faith, you can't share it well with others. So, we don't share our faith. And our conversations with brothers and sisters at church look the same as the world around us as we discuss sports, education, work or other things. Why is that? Because we have nothing to share with others regarding the work God is doing in our lives. Our faith is stagnant and rather than growing in grace, we just go through the motions of church and it becomes easier and easier to not practice our faith at all. Its why we see some church members who were excited about their faith when they first got saved, they hated missing the weekly gathering of the church for worship, but now we rarely see them. They are not growing in grace and so they see no need to gather with the church to pour into others. But the picture the Bible presents is that as Christians, we have a responsibility to build up each other in the faith. That is difficult to do when we don't gather. We see this in the book of Ephesians. First, look at [Ephesians 4:15-16](#) **15 Rather, speaking the truth in love, we are to grow up in every way into him who is the head, into Christ, 16 from whom the whole body, joined and held together by every joint with which it is equipped, when each part is working properly, makes the body grow so that it builds itself up in love.** Notice this is to the entire church building up each other together; he uses the pronoun **"we" are to grow up!** And these verses end with the fact that the church body itself grows by ....building **itself up in love.** And if we drop back to Ephesians 4:11-12, we see that Pastors/Shepherds role is to equip the church members to be able to do that well. [Ephesians 4:11-12 says, 1 And he gave the apostles, the prophets, the evangelists, the shepherds and teachers, 12 to equip the saints for the work of ministry, for building up the body of Christ...](#) We continue to see this idea when we move into Ephesians 5. [Ephesians 5:19 says, "addressing one another in psalms and hymns and spiritual songs, singing and making melody to the Lord with your heart..."](#) Even our congregational singing is intended in part to be a time where we share God's Word through song with each other to encourage each other in song as well as singing to God. So, this applies to all of us by the fact that all of us who know Christ are supposed to investing in other brothers and sisters in the church to build them up.

But we should go back to those verses and narrow the focus a bit to the original recipient of the letter Timothy. Timothy is a pastor, an elder, in the church. So when Paul

says, ...**what you have heard from me in the presence of many witnesses entrust to faithful men**, Paul is telling him as an Elder to raise up other elders. One of my highest goals as a pastor is to invest in other men, especially younger men to see them grow to become elders themselves. To my shame I haven't done this in a very consistent way, but I really want our church to be a training ground for pastors to be raised up from within the church. Of course this would include missionaries coming here to learn language and culture and be sent out to make disciples and plant new churches. But it should include men who have been part of our church for a long time, and younger men who were children and teenagers at YIBC. The average age of pastors in Japan is between 60 and 70 and a significant number are over age 70. According to articles from Samurai Project which is seeking to train pastors here in Japan, there are estimates that by 2030, 50% of all churches in Japan will be without a pastor. This is a problem that should concern us, and the only way to correct that problem is to raise up new pastors/elders. And while we should be raising up Elders to stay here at YIBC, we need to be thinking about and working towards raising up Elders who can be sent out to plant and pastor churches in other places in this country or even as missionaries around the world. One of my prayers for my ministry at YIBC is that the next lead pastor who replaces me, if God wills, hopefully 15 or 20 years from now, will be a younger man who has been trained for ministry right here at YIBC. So, if we are not in the business of identifying and training faithful men to be Elders, then we are failing in one part of making disciples in our church. And this would apply to women as well. If we are not identifying younger women and giving them the opportunity and the Biblical training to serve with their gifts in the local church and the larger Body of Christ here in Japan and around the world, then we are not truly making disciples as we should. Let me say this to men and women, especially those of you who consider yourself young, if you want to be mentored towards increased ministry, please come talk to me so we can be more intentional in that mentorship with either me or another Elder or a Godly lady in this church. Some of you sitting here and listening to this message today are already being prepared by God to be Elders, Deacons, missionaries, para-church ministry workers, Bible study teachers, Christian book translators or authors, and we as a church need to provide you the opportunity to learn and to grow into that role that God is preparing you for.

So how do we remain faithful and endure to the end- trust in God's grace, and as we grow in that grace, we invest in others. But this life of trusting God and spending it investing in others will not be easy, so Paul uses a series of illustrations to make his third point that **remaining faithful to the end will require us to endure in hardship**. In verse 3, he says to Timothy <sup>3</sup>**Share in suffering as a good soldier of Christ Jesus**. Then in verse 5 he says, <sup>5</sup>**An athlete is not crowned unless he competes according to the rules**. And in verse 6, <sup>6</sup>**It is the hard-working farmer who ought to have the first share of the crops**. What point is he making here? What do all three of these – soldier, athlete, farmer – have in common? They are hard! To be a soldier means you will suffer. When I was 18 years old, I went to Marine Corps Recruit Depot Parris Island South Carolina and spent three months being trained to be a United States Marine. It was hard and painful, as verse 5 says suffering! But the reason the training is hard and difficult is because you are training for war, which is harder and has more suffering. And how about an athlete. I used to enjoy running marathons (42 kilometers), a long time and a lot of kilograms ago! In order to finish that distance, it involves many hours each week just pounding the pavement in training to longer and longer distances. Now of course, there have been

cheaters in those races, who may run a couple of miles and then have a car pick them up and eventually rejoin the race at the end. When they are found out, they get no prize because they didn't do the work to actually complete the race. And then there is the farmer. His income and likely his family's food depends on the crops coming up. Those crops are not easy to raise, so his life revolves around the planting season and weeding and keeping the birds and the bugs away, and then harvesting at just the right time. No one would argue that the farmer does not work hard, but that work is rewarded with the fresh vegetables on his plate after harvest. All of these illustrations point to the fact that following Jesus will be a life of enduring hardship. For too many Christians, we try to avoid hardship and suffering. Rather than seeking to run away from it, we should look to Jesus for the grace to go through and endure that hardness to receive the reward that awaits us in Heaven and the blessing here on earth. This is what we see in verse 4 about the soldier. Paul says, <sup>4</sup>**No soldier gets entangled in civilian pursuits, since his aim is to please the one who enlisted him.** So many things can distract us from a life focused on faithfully following Jesus to the end. These "civilian pursuits" can be good things like education, vacations, entertainment, even our necessary job. Or they can be damaging things like alcohol, excessive scrolling on social media, addictions, or greed for money. The point is that if we seek to live by God's grace, pouring ourselves into others, it will take focused and hard work to remain dedicated to that effort. It will not just happen. And this takes us back to the beginning of this message – you will need God's grace to accomplish that work.

But here at the end of this message, I want you to stop and consider what we have just read. In verse 7 this is exactly what Paul tells Timothy after giving him these instructions. He says, Think about it! <sup>7</sup>**Think over what I say ...for the Lord will give you understanding in everything.** The fact is that you have heard me and maybe other pastors preach hundreds of sermons. We can listen to sermons or read the Bible with such a lackadaisical ho-hum attitude sometimes. We accept the Bible as true. We accept that what we read and hear preached is good. But when we listen to a sermon or read the Bible, which I would encourage you to do every day, and then quickly move on to whatever else fills our day, we are not taking the time to really think about what God is telling us in his Word. This idea of living a Christian life that will remain faithful to the end of your life is so important that Paul ends by saying – think about it, and pray for God to give you understanding of how it directly applies to Timothy and now to you. So, don't walk away to day and forget about these truths. Pray that God will show you what your response to his Word should be today. Have you experienced God's grace? If you haven't repent of your sins today and accept Jesus Christ as your Lord and Savior. If you have then live by that grace. Who are you investing in to see them move closer to Christ, or do you need to allow the church to invest in you so that you can be the next Deacon or Pastor or missionary? Finally, are you going to let the things of this world distract you from the hard work of following Christ? Or will you keep training like a soldier, running like an athlete or working like a farmer until the day you take your last breath and stand face to face in front of your Lord Jesus Christ? Let's pray.